

第4期評価委員会報告書 構成案

はじめに第1章 評価の目的と流れ

1. コミュニティ評価委員会の役割
2. 評価について
 - (1) 評価の目的と視点
 - (2) 評価の対象
 - (3) 委員会の構成

第2章 評価の方法 ※評価のプロセスを記載

1. 評価の基準
2. 評価の方法 (①施設利用状況調査、②利用者アンケート調査、③無作為抽出アンケート調査、④意見交換会及び視察)

第3章 評価の結果

- ✓ 16の協議会ごとに、見開き4ページ程度で以下を掲載
 - ①評価項目ごとに「a.現状」「b.工夫している点」「c.特筆すべき点」について記載
 - ②総括（施設ごとの成果と今後の方向性）

第4章 総評

1. 協議会運営全般について

- ✓ 主要な（共通する）論点ごとに、今後のコミュニティ協議会のあり方について考察。
- ✓ 論点の案は以下のとおり。

※論点案

「人材の確保・育成」「諸団体との連携」「情報発信」「気軽に立ち寄れるコミュニティセンターづくり」
 「地域や利用者の状況の把握」「電子的な連絡手段の考慮」

※論点ごとに、参考となる協議会の事例をコラム的に紹介。

2. 地域フォーラム、コミュニティ未来塾について

- (1) 地域フォーラムとコミュニティ未来塾の経緯 ※地域コミュニティ検討委員会の提言も紹介
- (2) 地域フォーラムの評価・今後の展望 ※これまでの開催実績も記載
- (3) コミュニティ未来塾の評価・今後の展望 ※これまでの開催実績も記載

3. 施設・設備等のハード面について

- (1) これまでの経緯と現状 ※ハード面の評価を行うに至った経緯の説明
- (2) 今後に向けて（今後の施設整備・維持管理に求められる考え方） ※総論として記載
 - ①施設の再配置等について
 - ②施設の保全・改修について（老朽化、バリアフリー、利便性など）

※特に課題の大きいコミセンは具体的に記載